

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

【適用雑草と使用方法】 ←この色の部分が2009年11月4日付けで適用拡大になりました

※印は本剤及びプロジアミンを含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示します。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数※	使用方法	適用地帯
日本芝	一年生 イネ科雑草	春夏期雑草発生前	20~30kg/10a (20~30g/m ²)	2回以内	全面土壌散布	全域
		秋冬期雑草発生前	20~40kg/10a (20~40g/m ²)			
	一年生雑草 (キク科を除く)	春夏期雑草発生前	30~60kg/10a (30~60g/m ²)			
		秋冬期雑草発生前	40~60kg/10a (40~60g/m ²)			
西洋芝 (ブルグラス)	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ 発生前	10~20kg/10a (10~20g/m ²)	1回	全面土壌散布	北海道
西洋芝 (ケンタッキーブル グラス)	一年生 イネ科雑草	春夏期雑草発生前	20~30kg/10a (20~30g/m ²)			全域(北 海道を除 く)
つつじ類	一年生雑草 (キク科を除く)	定植後雑草発生前	30~50kg/10a (30~50g/m ²)			全域

【効果・薬害等の注意】

- ①発芽後の雑草に対しては除草効果が劣るので、必ず雑草発芽前に時期を失ないように散布してください。
- ②キク科雑草の優占する所での使用はさけてください(効果)。ゴルフ場のグリーンでは使用しないでください。
- ③本剤の空容器を他の用途に使用しないでください。
- ④本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】 マスク着用

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ②眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- ③かぶれやすい人は取扱に十分注意してください。
- ④散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- ⑤街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ⑥散布中や散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮してください。風向きに注意し、自動車、壁、ペット、洗濯物、玩具などにかからないようにしてください。
- ⑦使用後の空容器は良くたいて中身を完全に出してから処理してください。

魚毒性：養殖池等周辺での使用はさけてください。

[注意]

- 土壌条件、気象条件（気温など）によっては、効果にむらが生じる場合があります。
- 雑草の中には効果（種子の発芽抑制）の劣る種類もあります。
- 砂質土壌（関西のまさ土）や水はけのよい土壌では使用しないでください。
- 日本芝では、芝張り後、根が十分活着（芝を引っ張っても根が張って剥がれにくい状態）してから使用してください。
- 西洋芝（ブルーグラス、ケンタッキーブルーグラス）に使用する場合は、芝の生育・活着（芝を引っ張っても根が張って剥がれにくい状態）が十分に進んだことを確認してから使用してください（薬害）。薬剤散布後6ヶ月以内の播種はしないでください。散布量を厳守してください。また、環境条件（高温、乾燥等）によっては薬害が生じる場合がありますので注意してください。
- 肥料効果だけを期待する時は使用しないでください。本剤の年間使用回数では、施肥量としては不十分なので、生育期間中は必要に応じて他の肥料を与えてください。

効果が出るまでの期間	散布後より（効果：発芽抑制）
効果持続の目安	5～6ヵ月

【代表的なキク科雑草】（キク科雑草には効果が劣ります）

ヒメジオン、ハルジオン、ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギク、ハハコグサ、ブタクサ、ヨモギ、ノボロギク、タンポポ、ノゲシ、セイタカアワダチソウなど。